

2022 年度学力試験問題の
「出題意図」・「解答例」・「評価ポイント」について

数 学 【昼間コース 一般選抜：前期日程】

大学入学共通テストではみることができない、問題解決にいたるプロセスをみることに主眼を置いている。ただし、記述式文章題のみではバランスを欠く恐れがあるので、穴埋め問題も配置している。

	出題の意図または解答例	評価ポイント
I 一群・二群共通	(解答例) (a) (2,1) (b) $x^2 + \frac{4}{3}x - 1$ (c) $\frac{31}{108}$	穴埋め問題であるので、結論のみで評価した。
II 一群・二群共通	(出題の意図) ベクトルに関する基礎的能力および応用力をみる。 ※本問題では、結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っても思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合、正解とまらないことがある。	与えられた条件から、長さや角度などに関する情報を適切に求められるかをみた。さらに、それらを組み合わせて、三角形 ABC の外接円の面積を求められるかをみた。
III 一群・二群共通	(解答例) (ア) $\frac{10(2^n - 1)}{n} + 2n + 2024$ (イ) 9 (ウ) $2\sqrt{3} - 3$	穴埋め問題であるので、結論のみで評価した。

	出題の意図または解答例	評価ポイント
IV 一群	<p>(出題の意図)</p> <p>微分法に関する基礎的能力および応用力をみる。</p> <p>※本問題では、結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っても思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合、正解とされないことがある。</p>	<p>導関数の正負を調べるなどにより、3次関数の増減を考察できるかをみた。また、aの値の範囲で場合分けした上で、最小値を求められるかをみた。</p>
V 二群	<p>(出題の意図)</p> <p>積分法に関する基礎的能力および応用力をみる。</p> <p>※本問題では、結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っても思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合、正解とされないことがある。</p>	<p>(1) 2個の不等式を適切な手順で証明できるかをみた。</p> <p>(2) 定積分と不等式の関係を設定問(1)の不等式に適用することにより、$\log 2$に関する不等式を証明できるかをみた。また、必要な積分を正しく計算できるかをみた。</p>